

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	てんてん			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		～	2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		～	2025年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士 作業療法士が常駐しているため、運動機能に関して専門的視点で観察・療育を行うことができる	日常動作の中から児童の困りごとや必要としている機能等を見極め、家庭と連携して取り組みを進めていく	必要に応じて個別での関わりを増やしていき、個々のニーズに沿った取り組みを行っていただけるようにする
2	毎日違う療育内容を実施している	運動遊び 音楽遊び ことば遊び 指先トレーニング等、多方面でのアプローチができるよう毎日さまざまな取り組みを行っている また季節に応じた製作や食育等のイベントにも力をいれている	ひとつひとつの療育内容を充実させ、児童が楽しみながら学べる環境づくりを行う
3	SNSで毎日事業所の様子を発信している	療育の内容やイベントの様子だけでなく、遊びの中で子ども達同士の関わりや日常生活の中でできたこと等を見逃さず発信するようにしている	職員間で事業所のこだわりや強みに関しての共通認識を深め、発信していけるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での過ごし方や活動の様子を実際に見てもらう機会が少ない	送迎を行っている児童の保護者様は特に、事業所へ来る機会が少ない	保護者様も参加できるイベントを企画することで、事業所内での過ごし方やお子様の様子を見ていただける機会を設ける またSNSでの発信を引き続き行っていく
2			
3			